

平成17年度難病患者見舞金の申請は3月末までに

今年度の難病患者見舞金（昨年四月からことし三月までの間に一度だけ申請可能）の申請は、三月末が締め切りです。対象者は、忘れずに申請してください。
対象：市内に一年以上居住し、同見舞金の申請時に有効期限

内の特定疾患医療受給者証・指定疾患医療受給者証・川越市小児慢性特定疾患医療受給者証の交付を受けている方、難病に係る生活保護の医療扶助を受けている方
申請受け付け：各受給者証・印

鑑・預金通帳を持参し、障害者福祉課（本庁舎一階）
見舞金：三万六千円
問い合わせ：障害者福祉課管理係・TEL内線2542

農業委員会委員が決まりました

平成十八年二月八日付けで、左記の方が川越市農業委員会委員に就任しました。

家の皆さんの代表として、優良農地の確保と有効利用、農業の担い手の確保・育成と経営の確立という重要な仕事をお願いします

ることになります。
問い合わせ：農業委員会事務局
管理係・TEL内線3752

石川良三郎	菅原町四・二三	長岡孝夫	笠幡二九四九
高橋誠	砂一二九	小林英男	並木八六九
沼野長男	古谷上四一八六	深田武雄	下赤坂一九〇〇・四
岡田初男	古谷本郷一〇一七	長堀徳	小室五八四
栗原榮	南大塚三一〇	泉名弘文	久下戸三六三三
小峯一男	砂新田六六	小高榮治	上野田町二三・一八
中村孝治	川鶴三丁目六一	岸涉	的場一三四八
長澤一雄	鴨田六三一	吉野一実	中福七五一
三上孝平	八ツ島三五七	新井正明	豊田本八六三
内田朔	鹿飼四六五	中原秀久	下広谷九八三・八七
堅木和雄	天沼新田三四一	細野稔	南田島五八五
須賀庄次郎	宮下町一丁目一七・二	坂本宏之	今福二八三二・一一
府川又七	山田一五五五	町田有功	北田島三五五
金丸太光雄	増形三一五		
小嶋剛男	吉田一一二		

（敬称略・総会議席順）

調査へのご協力、ありがとうございました！

平成17年国勢調査の速報

平成17年10月1日を基準日として、全国一斉に実施された「平成17年国勢調査」の速報値が公表されました。

総人口は、前回の調査（平成12年）より2,999人の増加（0.9%増）、世帯数は7,054世帯の増加（6.0%増）となりました。川越市の人口規模は、さいたま市、川口市、所沢市に次いで県内第4位となっています。

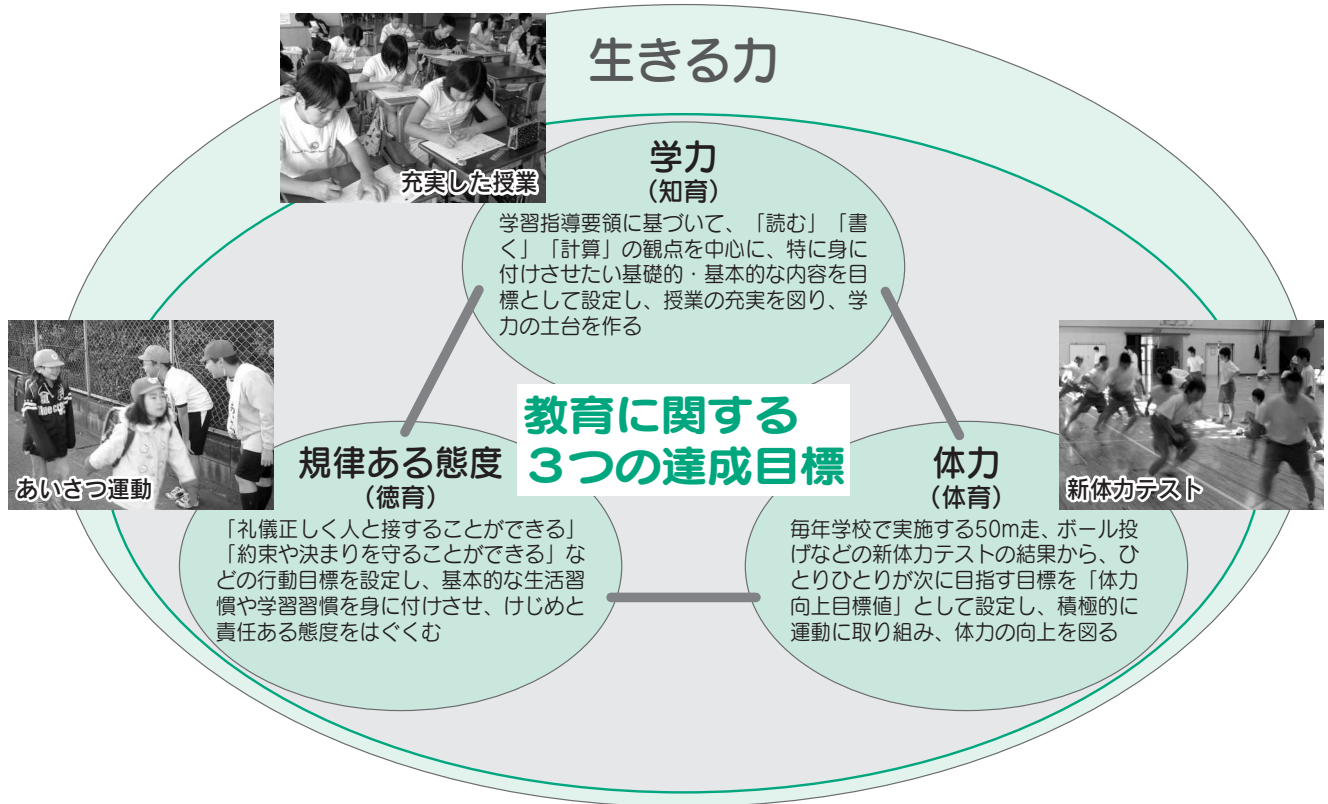
広報紙に掲載の人口・世帯数と違うのはどうしてですか？

昨年10月25日発行の広報川越に掲載した平成17年10月1日現在の人口は332,605人、世帯数は130,000世帯です。今回の速報値と一致していません。広報川越に掲載している人口・世帯数は、実際に市に届け出があった住民登録の件数を用いています（外国籍市民を含む）。これに対し、国勢調査では住民登録と関係はなく、ふだん住んでいる人をふだん住んでいる場所で、世帯ごとに調査します。未届けでもふだん住んでいれば件数に含め、届け出があっても単身赴任などでふだん住んでいなければ含めません。また、病院・老人ホームなどは、入院患者数や入所者数にかかわらず、棟ごとにまとめて1つの世帯として扱います。そのため、広報川越に掲載しているものより、人口が多いにもかかわらず世帯数が少ないという結果になります。

問い合わせ…情報統計課統計係・TEL内線2264

総人口	333,765人
男性	168,935人
女性	164,830人
世帯数	125,040世帯

全市立小中学校で取り組んでいます 「教育に関する3つの達成目標」



次代を担い、たくましく生きる子どもの育成を目指して

市教育委員会では、これまでの教育活動をさらに充実させるため、県教育委員会から「教育に関する3つの達成目標推進地域」の委嘱を受け、将来の川越を担う子どもたちの育成に積極的に取り組んでいます。

近年、子どもの学習意欲の低下、人間関係の希薄化、体力の低下などが指摘されています。これらの課題を解決し、次代を担い、たくましく生きる子どもを育成していくために、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育活動を展開することを目指すのです。

「教育に関する3つの達成目標」とは

教育に関する三つの達成目標とは、上の図のように、「学力」「規程ある態度」「体力」の三つの分野を中心に、特に身に付けさせたい基礎的・基本的な内容を、具体的な目標として設定したものです。

学校・家庭・地域社会の連携・協力による取り組みを

現在、全市立小中学校をあげて、教育に関する三つの達成目標の取り組みを進めています。

この取り組みには、家庭や地域社会の協力や働きかけが欠かせません。中でも、「規程ある態度」「体力」の育成については、学校と一体となって活動を展開することで、この成果はいつそう高まります。

この達成目標に対して、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ：教育研究所・TEL245-2920



寺尾調節池の中は、動物たちの憩いの場。野鳥だけでなく、運がよければタヌキやキツネを見ることもできます。2月13日、春を思わせる陽気に誘われて、洪水調整のために造られたこの池に出かけました。池でのんびりと毛繕いをする鳥たち。その奥に、散歩やジョギングを楽しむ人々。人と動物が共有する時間を、日ざしが暖かく包み込んでいました。

